

「日本臨床宗教教師会」2月発足

東北大に 事務局 独自に資格認定も

東北大をはじめ複数の大学で臨床宗教教師養成の動きが広まり、各地で修了生による地方臨床宗教師会が組織化される中、資格認定を行う「日本臨床宗教教師会」が2月に発足する。医療・福祉の現場に入る修了生も増えつつあり、資格認定によ

て一定の質の確保と倫理面の共有を図っていく。臨床宗教教師養成研修の修了生や指導者を会員として組織する。会長には島園進・上智大教授が就任し、事務局を東北大実践教学寄附講座に置く。すでに研修を行って

いる東北大や龍谷大、高野山大、鶴見大の他、来年度以降の開講を予定する上智大、種智院大、武蔵野大などの養成機関と、六つの地方の臨床宗教師会が連携・協力して、臨床宗教教師の社会的認知の向上を図るとともに、教育の継続や相互

各養成機関では修了証を発行しているが、同会では資格として「認定臨床宗教教師」を授与する。会員が指定のフォローアップ研修や会話記録検討会に参加することで認定される。同会で定める倫理綱領の順守も課し、違反した場合、資格の剥奪

や再教育といった処分を行う。

事務局長に就任する谷山洋三・東北大准教授は「臨床宗教教師に対する社会的な期待が高まる中、それに応えるための共通の舞台づくりが求められており、この会を通して社会的責任を果たしていきたい」と話した。

同会では2月28日、龍谷大（京都市）で設立記念シンポジウムと記者会見を開く。

（佐藤慎太郎）